

会報 一燈

津歌協議会
すばらしいをつく

第 1 号
4月17日(日)

歌津地区死者47名

行方不明者66名

東日本大震災から一ヶ月、自衛隊をはじめ全国各地から応援の各県警の皆様、ご家族の捜索にもかかわらず、行方不明者の数が約六割となっております。

『歌津地区のライフライン情報』
電気

『南三陸町商店会 連合会より』
三月より販売の二割増で換金可能です。四月十一日から津山支所仮事務所

水道

西光寺前水源地にて揚水試験を実施済。次に水質試験を行い、随時補修工事完了区域から通水予定。全域通水については見通し立

次には家屋被害は表2のとおりです。なお、昭和八年と明治二十九年の三陸大津波の家屋被害について

行政区	死者数	行方不明者数
上 沢	2	0
中 在	2	3
石 泉	1	0
伊里前上	4	11
伊里前下	6	12
葦の浜	5	3
寄 木	0	2
館 浜	2	0
泊 浜	4	5
馬 場	3	3
中 山	1	3
名 足	5	7
石 浜	3	4
田の浦	5	12
港	4	1
明治29年三陸大津波	799名(22%)	人口3,560名
昭和8年三陸大津波	86名(1.9%)	人口4,525名

(4月15日現在、行政区長聞き取り調査による)

家屋被害 (表2)

行政区	被害前戸数	流失・全壊・半壊	被害率
中 在	24	4	
葦の浜	68	35	51.5%
寄 木	46	35	76.1%
伊里前上	202	150	74.3%
伊里前下	208	109	52.4%
館 浜	80	52	65.0%
泊 浜	129	62	48.1
馬 場	48	45	93.8%
中 山	54	37	68.5%
名 足	145	60	41.4%
石 浜	63	15	23.8%
田の浦	92	53	57.6%
港	111	35	31.5%
明治29年三陸大津波	512	306	60.7%
昭和8年三陸大津波	567	152	26.8%
合 計	1,270戸	692戸	54.5%

道路

国道45号線歌津地区内は通行可能(市内地経由)。小泉大橋は通行不可、迂回路あり。県道泊崎半島線は、稲刈長須賀荘前通行不能。長須賀海水浴場沿いも通行不能。町道大沼線を利用し馬場・泊方面へ。

『南三陸町商店会 連合会より』

三月より販売の二割増で換金可能です。四月十一日から津山支所仮事務所

【産業団体情報】

「JA南三陸歌津支店」
仮事務所を元歌津町給食センターに設置。なお、五月頃には平成の森に仮設事務所を設置する予定。
今年の水稲苗の注文については、3千箱位歌津育苗センターで育苗予定です。希望者は仮設事務所にてご相談下さい。

「JF漁業協同組合 歌津支店」

現在名足出張所にて窓口業務を取扱っています。
船舶保険の説明会を四月中に行う予定です。詳しいことは名足出張所にお問合せ下さい。

「南三陸商工会 歌津支店」

仮事務所を現在登米市みやぎ北上商工会津山支所(〇二五 六八 二四四三)の事務所をお借りして、窓口業務を取扱っております。保険関係やゴミ袋の件でご不便をおかけいたします。臨時商工会窓口にて対応して

全国から医療チームが 被災者の健康を守っています

す。ゴミ袋は生産ラインの故障のため見通しが立っていません。
南三陸商工会電話番号は(〇八〇 六〇一〇 四二〇八)

歌津中学校保健室では、24時間体制で五月八日まで奈良県医師会の皆様と山梨大学医学部付属病院(日中)の皆様が診療
平成の森では、横浜DMATの皆様が24時間体制で診療
名足保育園では、午前中のみ香川県DMATの皆様が診療
馬場中山生活センターでは、国境なき医師団の皆様が午前診療
大磯力ネサン倉庫では、国境なき医師団の皆様が午前診療
泊浜生活センターでは、香川県DMATの皆様が午後のみ診療
石浜集会所では、国境なき医師団の皆様が午後のみ診療

【町外集団避難者】

四月三日、四月六日に大崎市鳴子、栗原市延年間、登米市へ143名避難。

【仮設住宅 建設始まる】

吉野沢団地の一角に仮設住宅建設工事が着工しました。なお仮設住宅申請受付は四月二十一日まで建設課又は各避難所に提出して下さい。

以上、十二ヶ所で私たちの健康を守っていただいております。本当に心強くてあります。本心から感謝いたします。

津龍院・西光寺合同葬

四月二十八日に決定

今回の震災において、歌津地区内の二ヶ寺が流失いたしました。両寺院檀信徒の死者数は四月十日現在で42名、火葬も済ませていることから、行方不明者の捜索の推移を見守っていたが四月二十八日四十九日を迎えるにあたり、両寺院、町当者と相談の結果下記のとおり合同葬が決定しました。

日時 平成23年4月28日(木)
午前10時
場所 伊里前小学校体育館
主催 津龍院・西光寺
後援 南三陸町



避難所の今

被災から一ヶ月が過ぎ、未だに電気・水道・電話不通の厳しい条件の中、各集落の集会所や親戚、友人、知人宅に身を寄せて避難生活を送っている。各避難者の概ね人数（日々出入りがあり確定した人数の把握が難しいこと）は次のとおり。

- ・歌津中学校 約200名
- ・歌津デイサービス 30名
- ・平成の森 220名
- ・名足保育園 86名
- ・馬場中山生活センター 80名
- ・泊浜生活センター 79名
- ・高倉荘 10名
- ・泊崎荘 10名
- ・大磯力ネサン倉庫 14名
- ・石浜集会所 37名
- ・港親義会館 35名
- ・葦の浜荘 20名
- ・石泉活性化センター 40名
- ・上沢集会所 10名
- ・中在集会所 4名
- ・弘川集会所 5名
- ・樋の口集会所 7名

- ・上沢地区 2名
- ・8世帯 36名
- ・樋の口地区 40名

この外、親戚や友人、知人宅に避難している行政区の状況は次のとおりです。

- ・中在地区 5世帯 22名
- ・葦の浜地区 2世帯 9名
- ・寄木地区 7世帯 38名
- ・伊里前地区 12世帯 60名
- ・館浜地区 13世帯 147名
- ・泊浜地区 9世帯 135名
- ・馬場中山地区 生活センター周辺にピニールハウスや保冷車等や残った4世帯に30名
- ・名足地区 27世帯 82名
- ・石浜地区 9世帯 20名
- ・田の浦地区 5世帯 30名
- ・港地区 16世帯 70名

人事異動

- 支所長兼地域生活課長 阿部敏克
- 係長 西城庄一
- 主事 小野寺大樹
- 町民福祉課兼名足保育園長 小野三男
- 生活福祉係長 及川幸子
- 主査 菅原信男
- 主査 畠山洋子
- 主事 阿部由紀
- 保健師 阿部和美
- 館長 千葉和之
- 社教主事 大森隆一



国道45号線三浦石油付近から伊里前市街地



寄木水門



葦の浜集落



中在供養敷から田表



稲淵千葉一成宅前付近県道から



管の浜



館浜県道から津龍院方面



伊里前商店街



名足・中山



馬場 大勢丸附近から



泊集落



長須賀海岸県道泊崎半島線



港地区



田の浦漁港



石浜湾を望む



名足かどや商店の骨材が残っている

参った 参った

武道では、勝負に負けた時、相手に対して尊敬の念を込めて「参りました」という。神仏に対しても畏敬の念を持って「お参り」をし、手を合わせ。

古来、山川草木を神として崇拜し、自然に生かされているという精神文化によって育てられてきたはずである。

さて、今回の大震災であるが、いかに人間の力などたいしたものではないということを見せつけられた。あつという間にガレキの山と化した。自然とするしかなかった。「参りました」の一語に尽きる。自然は謙虚なれど厳しく灸を据えたのかもしれない。しかも千年に一度の厳しさを持つて、大震災から一ヶ月がたち、被災者たちは世界中の人々のご支援で夢中で日々を過ごしてきた。歌津地区で何がどう起き、どうなっているのか、どこへ行くのか不安の中で正しい情報を求めているように思う。

情報の共有化を図るため歌津地区の代表者や区長、団体長で構成する「すばらしい歌津をつくる協議会」で、「会報一燈」が「復興」への一筋の光になれば幸いである。